

2021 年度

1. 科目名 (単位数)	体育 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2280						
2. 授業担当教員	濱野 ゆうり								
4. 授業形態	実技を中心に実施し、適宜講義(実技で扱えない領域・保健領域)やディスカッション、グループでの発表を行う。	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>今の日本では生活習慣病の予防・改善や平均寿命の延伸などにより、運動やスポーツ、健康への関心が高まってきている。このことから、体育は生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために重要な科目となっている。また、子どもの体力は低下しており、幼児や児童の体力向上のために体育は重要な位置づけとなる科目である。</p> <p>この授業では、小学校学習指導要領や幼稚園教育要領を踏まえ、教育現場で実際に指導を行える能力を学習していく。学習指導要領に応じて、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てることができるようになるとともに、健康の保持増進、体力の向上を養うための技能や知識を身につけ、指導できるようになることを目的とする。また、幼稚園教育の現場で行われる運動を指導できるようにすることを目的とする。</p> <p>・幼稚園「健康」・小学校学習指導要領における「体育」の目標、内容の概要を捉え、「健康」および「体育」の位置づけを理解する。さらに各領域におけるおもな運動を実技を通して経験することで、その運動特性を自身の身体で捉え、健康・体育指導に必要な最低限の技能を身につけることができるようにする。具体的には以下の①②に示す通りである。</p> <p>①正しい運動の方法を理解し、正しく運動ができるようにする。</p> <p>②ただし各種運動を指導できるためのポイントを押さえ理解する。</p> <p>・さまざまな子どもたちにおける個に応じた実技指導やその評価計画について理解することができるようにする。</p>								
8. 学習目標	<p>本講義を履修することによって以下の項目を達成することを期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今日までの幼・小の体育授業の位置づけについて理解することができる。 2. 小学校体育指導に際しては、各運動領域における必要最低限の運動技能を身につけることができる。 3. 幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようにする 4. 体育指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【課題レポートとして】子どもの健康問題と身体運動の科学を学んだうえで、教育現場において体育の授業がどうあるべきか自分の考えを述べる。(詳しくは、講義で指示する)</p> <p>【実技試験として】模擬授業(運動プログラムの実践)計画・教材づくり・実践・振り返りまでを含みます。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】適宜ワークシートや学修資料を配布する</p> <p>【参考書】小学校学習指導要領(平成 29 年告示)体育編解説 文部科学省 2017 幼稚園教育要領解説 文部科学省 フレーベル館 2018 幼児期における運動遊びの指導 杉原隆・河邊貴子編著 ミネルヴァ書房 2014 教養としての身体運動・健康科学 東京大学身体運動科学研究室 東京大学出版 2009</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育の現場で行われる各運動領域における必要最低限の運動技能を身につけることができたか。 2. 幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようになったか。 3. 運動遊びの指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができたか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加態度</td> <td>50% (出席状況や意見発表を含む)</td> </tr> <tr> <td>2. 課題レポート</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>3. 実技試験</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>			1. 授業への積極的参加態度	50% (出席状況や意見発表を含む)	2. 課題レポート	20%	3. 実技試験	30%
1. 授業への積極的参加態度	50% (出席状況や意見発表を含む)								
2. 課題レポート	20%								
3. 実技試験	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>・15 回の授業内容を記録するためにノートを用意する必要があります。最終授業で提出を求めます。</p> <p>・指導案の作成と実践には、しっかりと時間を割き、資料収集を十分に行ってください。実践準備は、授業内だけで完結することは困難です。グループでの検討や作業は授業時間外の準備を怠らないことを望んでいます。この活動は、評定の方法の「授業への積極的な参加態度」に反映します。</p> <p>・常に、教員として子どもや保護者の前に立つことを意識し、頭髪や服装等の身支度を整えてください。また、実技の際には、運動にふさわしい服装(ジャージ、T シャツ等。ジーンズ禁止)で参加しましょう。</p> <p>・グループワークや模擬授業など、実践を通じた授業を実施しますので、遅刻や欠席の無いよう、自身の健康にも十分気をつけてください。</p>								
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション 現代社会と体育・スポーツの役割	事前学習	ノートを 1 冊準備し、現代の生活と運動について自分の考えを記入しておくこと。今後、各回の学習課題もすべてノートに記すこと。						
		事後学習	授業内容をまとめ、スポーツの役割について自分の考えを 600 字程度ノートに記しておく						

2021年度

第2回	子どもの運動環境の現状と我が国の体育・スポーツ基本的施策について	事前学習	1回目の事後学習を口頭で発表できるように準備する。
		事後学習	自分の出身地のスポーツ施策を調べておく
第3回	身体運動と健康 ～健康と体力・身体運動と生活習慣病の予防について～	事前学習	出身地のスポーツ施策について口頭で発表できるようにしておく。
		事後学習	興味のある生活習慣病について、資料を収集し、調べる。
第4回	発育と発達 ～子どもの発育発達と身体運動の影響について～	事前学習	子どもの発育発達に必要な要素について自分の考えをまとめる。
		事後学習	子どもの健康にとって必要な環境条件をまとめる。
第5回	身体の構造と運動とのかかわりについて	事前学習	筋肉の名称・骨の名称をそれぞれ10種類程度、調べておくこと。
		事後学習	運動における身体への効果についてまとめる。
第6回	集中実技①体づくり系運動あそび	事前学習	運動に適した服装の準備と自身の健康状態を整えておく。
		事後学習	実施した運動遊びをノートに記録する。
第7回	集中実技②器械運動系の基礎と運動あそび	事前学習	器械運動の実技ができるよう自身の身体の準備をしておくこと。
		事後学習	実施した運動遊びをノートに記録する。
第8回	集中実技③陸上運動系の基礎と運動あそび	事前学習	走る・飛ぶことができるよう自身の身体の準備をしておくこと。
		事後学習	実施した運動遊びをノートに記録する。
第9回	集中実技④ボール運動系の基礎と運動あそび	事前学習	球技ができるよう自身の身体の準備をしておくこと。
		事後学習	実施した運動遊びをノートに記録する。
第10回	運動プログラムの実践① 体づくり運動あそび：運動プログラムの発表	事前学習	グループごとに運動プログラムを作成する。
		事後学習	体験した運動プログラムをノートに記録する。
第11回	運動プログラムの実践② 器械運動系の運動あそび：運動プログラムの発表	事前学習	グループごとに運動プログラムを作成する。
		事後学習	体験した運動プログラムをノートに記録する。
第12回	運動プログラムの実践③ 陸上運動系の運動あそび：運動プログラムの発表	事前学習	グループごとに運動プログラムを作成する。
		事後学習	体験した運動プログラムをノートに記録する。
第13回	運動プログラムの実践④ ボール運動系の運動あそび：運動プログラムの発表	事前学習	グループごとに運動プログラムを作成する。
		事後学習	体験した運動プログラムをノートに記録する。
第14回	集中実技⑤表現運動系の基礎とグループ発表	事前学習	グループごとに運動プログラムを作成する。
		事後学習	体験した運動プログラムをノートに記録する。
第15回	幼児期・児童期の体力測定と評価について ～安全な運動の実践に向けて必要な点～まとめ	事前学習	体力測定の種目を調べておく。
		事後学習	15回分の記録をしたノートを提出する。
期末試験			
15. 実務経験を有する 教員特記事項	中学校および高等学校の保健体育科「保健分野」及び「体育分野」の担当教員として、また幼児体操教室の講師としての経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		